

2008年度第1回番組審議会議事録

1. 開催日時 2008年6月4日(水)17時~18時

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 8名 為岡務・萩尾利雄・正岡健二・高木邦子・木辻清子・山本幸男
平川愛恵・中嶋知之

補：放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

4-1. 委員就任承諾へのお礼

4-2. 各委員の紹介

4-3. 今年度委員長の選出 木辻清子氏を選出

4-4. 今年度の委員会開催日程について各委員のご都合のよい曜日を検討

4-5. 番組審議

第1回審議番組「作業所 Crafts カタログ」 5月20日(火)14:50ころから5分間放送
(毎週火曜日14:00~15:00放送「ふれてあれこれアイ to アイズ」の中の5分程度のコーナー。)

プレゼンター： 和気克子さん(フェアトレードショップ「みみずく舎」)

聞き手 : 日比野純一さん

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 出席者の審議

【木辻清子委員長】

- ・ 和気さんもみみずく舎も仕事上よく知っているので身近な話題として印象がよかった。

【平川愛恵委員】

- ・ 打ち合わせが不足しているのでは…。紹介する商品の具体的な説明について聞き手がもっと質問をして、リスナーにそれが見えるようなやりとりをして欲しい。
- ・ 作業所の説明と商品の説明とのバランスが悪い。作業所の作品ならではの良さが響いてこなかった。
- ・ フェアトレードとは何か、なぜその商品を作ろうと思ったのか、きっかけや具体的な苦労話や他所からの反響なども聞きたい。短い時間の中では難しいとは思いますが…。

【萩尾利雄委員】

- ・ 商品を買って欲しいなら値段を言わない方がおかしい。
- ・ テクニックが必要。商品番号、商品名、色、種類、問合せ先等を的確に伝えるために。

【為岡務委員】

- ・ やはり事前の打ち合わせを十分にすることが肝心。何を伝える番組なのか。

【高木邦子委員】

- ・ もっと商品を具体的に説明しないと、聞いているだけでは何をイメージしたらいいのかが分からない。

【中嶋知之委員】

- ・ 「カタログ」になっていない。紹介された商品を買う為ための連絡先や場所が分からない。メリハリがない。

【山本幸男委員】

- ・ 素材番組はいつも仕事をしながら聞き流しているが今回のはあまり残らなかった。
- ・ 紹介しているものを売り込む番組なのか？だとしたら売る気がないように感じた。

【正岡健二委員】

- ・ 基本的なラジオとテレビの違いを十分に意識しなければならない。リスナーは見えない。
- ・ キャッチコピーがない。一瞬のうちに期待を膨らませて貰えるように仕向けるテクニックを。
- ・ ラジオショッピングの仕方を研究する必要がある。テンポよくポンポンと具体的に情報を伝える。次に何を言うかな？と思わせる。
- ・ 早口でもいいから基本的な情報は全部伝える。値段、どこでどうやって買う等の確に。足を運ばせるために。
- ・ コーナーの目的をはっきりさせる必要がある。

【萩尾利雄委員】

- ・ 売り込む時には音を大きく。
- ・ 実際に買った人の声もあればよい。口コミは影響大。

【木辻清子委員長】

- ・ 作業所のアピールをするのはなかなか難しい。販路を拡大したいとは常々考えている。
- ・ 期待している。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 「ふれてあれこれアイ to アイズ」は 2008 年 4 月 17 日からネットワークながたの協力とソフトバンクモバイルの社会的投資プログラムを受けてリニューアルし、メインパーソナリティは同じですがコーナーの構成等がだいぶ変わりました。
- ・ 作業所でいかにして購買意欲をそそる商品を作るのかという目的のためのコーナーです。
- ・ 視覚障害者であるメインパーソナリティの薮さんに伝わるように話すことを心がけています。ということは番組を聞いているリスナーの皆さん全部にということであり、そのための工夫が必要です。
- ・ リスナーに「欲しい」と思わせる話術。話し手は「買っていただきたい」というテンポで。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

- ・ 7 月第 2 週収録時に担当スタッフに連絡、指導等を行った。

8．審議内容の公表について

8-1．公表内容 議事の内容

8-2．公表方法

8-2-1．自社放送 2007年7月7日 16:50~17:00 放送

8-2-2．議事録の設置

8-2-3．ホームページに掲載

以上